

# 魅せる！ 現場

～現場を支える人々編～

若手社員が挑む、  
地図に残る仕事。

天ヶ瀬ダム再開発トンネル放流設備  
流入部建設工事

## 「地図に残る仕事。」 に憧れて

土木の仕事に就いた理由は、その大きさ。  
ライフラインを整備し、人々の生活を陰で支える、  
地図はもちろん、歴史にも残る。  
そんな影響力の大きな仕事に憧れたんです。

大成建設株式会社 関西支店

工事係

まつもと ゆうじ

松本 侑士

2013年入社 26歳

(2014年現在)

大成建設株式会社 関西支店



現場の一日は朝礼から。今日一日の作業内容を全員で確認し、工事を安全に進めるために全員の気持ちをひとつにします。気が引き締まる瞬間です。



若手の仕事は「工事を知り、人を知ること」。現場で職人さんたちと話す中で「巨大工事も一人ひとりの力が合わさってできているのだ」と実感。

### ■配属の経緯



「幼い頃から海やダムが大好き」というのが海洋土木の志望理由。1年目にこの現場に配属されたときは本当に嬉しかったです。その初心を忘れず、2年目も頑張っています。





昼食後のミーティング。現場は刻々と変化します。予定していた作業の進捗や変更を全員で共有し、午後の作業に備えます。

# 人の絆が、 形になる醍醐味

たとえどんなに巨大な工事でも、それを成功に導くのは、関わる人の力。個人の力は小さくても、心を合わせれば大きな力になる。それがこの仕事の面白さであり、難しいところ。



少しずつ、でも確実に姿を変え、完成に向かう工事現場。その変化にやりがいを感じ、また責任の重さを実感します。



## 天ヶ瀬ダム再開発トンネル放流設備 流入部建設工事

築50年を数える天ヶ瀬ダムの再開発工事。大成建設はダムから水を取り込む流入部の土木工事を担当。直径28m・深さ約40mの円筒型の巨大な空間を水中に造り出します。最終的にはゲートを有するコンクリートの構造物が設置されます。

## ■研修の思い出



入社後、本社で測量などの基礎的な研修を受けた後、関西支店に。仲間でありライバルである同期とは、頻りに連絡を取り合い、お互いの仕事を報告しています。





# 水辺から、 世界の未来を 創造する

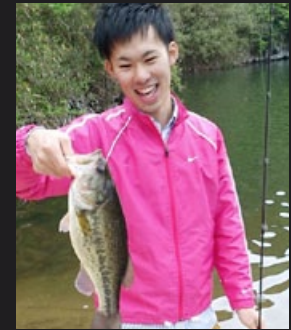
川や海、ダムなど、水辺での工事は難易度が高い。  
だからこそ、高い技術と確かな知識、豊かな経験が問われる。  
多彩な現場を経験し、海洋土木のプロになるのが目標。  
いつか自分の手で、世界の未来を築く工事に従事したい。



見えないところで、人々の生活を支える。それを自らの手で造り上げるのが土木工事。様々な現場を経験し、いつかは海外で国家的なプロジェクトにも関わりたいですね。



## ■プライベート



趣味は釣り。仕事帰りに職人さんたちと一緒に、近くの川に糸を垂れることも。一日の疲れも忘れる瞬間。明日への意欲も湧いてきます。



# 仲間がいる だから、できる

現場が変われば、関わる人も変わります。  
だから、現場の数だけ出会いがあり、  
物語があり、そして仲間ができる。  
それが土木という仕事なのです。



## 先輩からのエール



監理技術者  
みずの もとあき  
**水野 智亮** (41歳)

日々の仕事を刺激として吸収し、身につけるのが1年目。2年目は経験を積みつつ、実力を発揮する時期。大きな成長を果たしてほしい。



工事課長  
くすめぎ よしあき  
**久壽米木 義昭** (43歳)

後輩を指導する立場に。見栄を張らず、出し惜しみしない、素直で正直な先輩になってほしい。自信を持ちつつ、甘えず頑張ってください。



工事課長代理  
うどう ひろたか  
**有働 敬天** (39歳)

先輩や上司、多くの職人さんとの関わりの中で、絆の大切さを学んだと思います。現場はみんなで造るもの。完成目指して頑張ろう！



工事主任  
かばや だいすけ  
**蒲谷 大輔** (31歳)

朝礼やミーティングで、自信を持ってはっきり話すようになってきました。今年は先輩として更なるステップアップを期待しています。

次回は導流部とゲート室部を施工する鹿島建設(株)が担当します。ご期待ください！